

りんくる地域福祉新聞

石狩市の様々な地域福祉の話題を取り上げて提供する「りんくる地域福祉新聞」第40号です。いつも地域の会館等への掲示にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。これからも地域の話題をたくさんお届けしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

第30回石狩市社会福祉大会

11月8日(金)りんくる交流活動室にて、第30回石狩市社会福祉大会を開催いたしました。式典では、石狩市社会福祉協議会会長顕彰と北海道社会福祉協議会会長顕彰表彰状の伝達を行いました。



石狩市社会福祉協議会会長顕彰では、永年にわたり社会福祉協議会役員として地域福祉推進にご尽力された8名へ表彰状、ボランティア活動や寄付により社会福祉事業にご協力を頂いた14団体10名へ感謝状を贈呈いたしました。

また、北海道社会福祉協議会会長顕彰では、優良社会福祉協議会表彰、民生委員・児童委員功労表彰、社会福祉事業協力者、社会福祉協議会職員功労表彰として2団体9名が顕彰を受けられ、表彰状を伝達いたしました。

つづいて講演では、前石狩市長田岡克介氏より「市民とともにあゆむまちづくり」郷土愛からはじまるわが町いしかり」を題目にご講演いただきました。

石狩市の歴史から日本の歴史、さらに社会福祉の歴史を紐解かれどのように社会福祉の概念が変化してきたか、その中で社協がどのような役割を担ってきたのかなどを解説されました。また、5期20年市長を務めた中で2014年に施行された手話言語条例についても振り返り、最後は石狩市への郷土愛や従来より人間のもつ愛情を大切にしてもらいたいと熱く語られました。



ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。

ふれあいサロン研究会開催いたしました

10月11日(金)ふれあいサロン研究会(旧ふれあいサロン座談会)を開催いたしました。今年度で8回目となる今回は「いきいき百歳体操」の取組を中心に、地域の皆さまが集まって身体を動かす効果等を石狩市北地域包括支援センター井口氏にご講演いただきました。また、市内でいきいき百歳体操を週1回以上実践されている2団体の代表者から、どのように活動されているのか、活動が立ち上がったきっかけや効果などをお伺いしました。「最初は出来なかつた片足立ちが長時間できるように歩けるようになった」「体操の良さだけではなく交流できるのが嬉しい」など、実感されている効果は素晴らしい内容ばかりでした。



多くの地域で健康づくりとなる体操などを取り入れていただきたいと思います。

次期地域福祉実践計画を作っています!

石狩市と石狩市社会福祉協議会では、来年4月から始まる第4次石狩市地域福祉計画、第6期石狩市社会福祉協議会地域福祉実践計画を一体的にした新たな計画を策定するため、地域住民の皆さんや福祉関係団体の皆さんとワーキンググループをつくり、一緒に話し合いを進めています。



第2回ワーキンググループの様子

「地域共生社会」の実現に向けて、制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、高齢者、障がい者、子ども等を含むすべての人々が互いにささえ合いながら、世代や分野を超えて誰もが役割を持ち活躍できることが大切です。

グループワークでは、立場や分野を超えて活発に意見交換が行われています。今後、素案をもとに意見公募も実施しますので、是非、地域の声をお聞かせください。

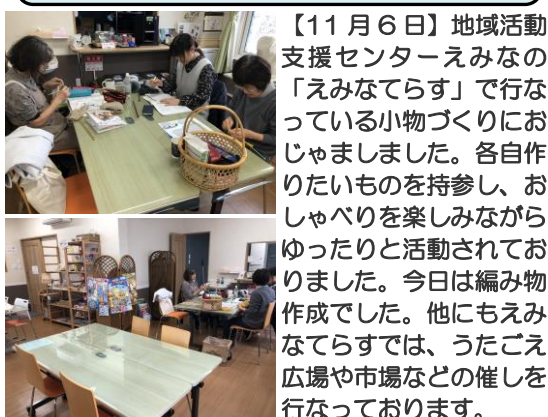
歳末たすけあい運動

◎石狩市における推進期間◎
12月1日～15日

歳末たすけあい運動は、地域住民やボランティア、民生委員児童委員、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、ひとり暮らし高齢者、在宅障がい者、介護が必要な方々などに義援金の贈呈や福祉事業への助成を実施しております。地域住民みなでささえ合い、安心して新年を迎えることができるように、今年も皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

みなさまのご協力を
よろしく願っています

りんくるちゃんのつづき



【11月6日】地域活動支援センターえみなの「えみなてらす」で行なっている小物づくりにおじゃましました。各自作りたいものを持参し、おしゃべりを楽しみながらゆったりと活動されておりました。今日は編み物作成でした。他にもえみなてらすでは、うたごえ広場や市場などの催しを行っております。

りんくるちゃんツイッター 検索

新聞に関するご意見・お問い合わせは、石狩市社会福祉協議会まで!



(Tel: 72-8184)



この壁新聞は、赤い羽根共同基金の助成を受けて作成しています。